

ソフト事業のみ
  ハード事業を含む

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度5年度

市町村名	小川町					
提案事業名	新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業					
事業期間	令和2年度～令和4年度					
成果指標	(成果を検証する指標) サテライトオフィス入居企業数及び地域関わり隊が行った地域活動数					
	(成果検証の具体的な方法) ①令和3年度～令和4年度のサテライトオフィス入居企業数 ②令和3年度～令和4年度の地域関わり隊が行った地域活動数					
	(成果の目標値に対する実績)					
	従前値 (令和2年9月時点)	①サテライトオフィス入居企業数 -社 ②地域関わり隊が行った地域活動数 -社	目標値 (令和5年3月時点)	①サテライトオフィス入居企業数 4社 ②地域関わり隊が行った地域活動数 4件	達成度 実績値 (令和5年3月時点)	①サテライトオフィス入居企業数 4社 ②地域関わり隊が行った地域活動数 10件
	(施設建設等の場合の実績)					
年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	10,000 4,936	稼働率 (%)	(目標) (実績)	85(営業日数) 240(営業日数)	
住民への公表状況 及び特記事項		町公式ホームページへの掲載により公表予定。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度～令和4年度構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 新しい働き方創出サテライトオフィス等整備事業(令和2年度)	○ ⊙ ×	石蔵を、サテライトオフィス等の機能を備え、かつ町民等が広く利用可能な施設として整備したことにより、町内での就業支援や域外からの人材確保、町内における人的交流の促進を図るとともに、新しい働き方を求める人の受け皿の創出に繋げることができた。一方で、十分な周知の仕組みが確立しきれていなかったため、年間利用者数の大きな伸びには繋がらなかった。
② 小川町地域関わり隊事業(令和3年度)	⊙ △ ×	地域関わり隊となる入居企業との関係者と事業構築をしていくなかで、域外企業の視点による地域資源を掘り起こすとともに、企業の特性を活かした自由度の高い企画・運営を行うことにより、域外にとって魅力ある取組とし、もって関係人口の創出・拡大を図ることができた。コロナ渦で大規模なイベントを行うことが難しい中、小規模なイベントを継続して開催することで、活発に活動を行うことができた。
③ 小川町地域関わり隊事業(令和4年度)	⊙ △ ×	地域関わり隊となる入居企業との関係者と事業構築をしていくなかで、域外企業の視点による地域資源を掘り起こすとともに、企業の特性を活かした自由度の高い企画・運営を行うことにより、域外にとって魅力ある取組とし、もって関係人口の創出・拡大を図ることができた。地元在住の方や小川町に関心のある県外在住の方、施設会員が参加し、イベントを通じて新しい繋がりが生まれるきっかけを作ることができた。
④	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について十分に成果が認められた点	コロナ渦において、サテライトオフィス等をはじめとしたテレワーク環境を求める声にいち早く対応することができた。地域資源である築約100年の大谷石蔵を活用しているため、域外への発信力も高いといえる。また、多数の会員登録が行われたとともに、当該施設を活用した各種イベント等を開催し、町の魅力を発信することができた。
実施事業について成果が不十分である点	利用者同士の交流を生み、継続して施設を利用してもらうことに加え、新規利用者の獲得が課題である。また、利用者間だけでなく地域との関わりを創出し拡大していく必要がある。
成果検証を踏まえた今後の改善策	サテライトオフィスやワークスペースとしての機能のほか、カフェやイベントスペースとしての活用の促進に加えて、町の魅力をPRするイベントを定期的に開催し、地域活動の幅を広げることで、施設の更なる周知や利用者の増加に繋げていく。